

5 オオサンショウウオ

(オオサンショウウオ科)

兵庫県ランク:B

Andrias japonicus

環境省ランク:VU

種の概要

日本の固有種で、岐阜県以西の本州と、四国・九州の一部に分布。同属のチュウゴクオオサンショウウオとともに現生の両生類中では世界最大で、成体は全長150cmを越えることもあり、180cm近い博物館標本も知られている。水の綺麗な河川に生息し、繁殖期には雄はその横穴に産卵巣をかまえ、雌がそこに入って産卵すると受精し、孵化まで卵を守る。



写真提供: 松井 正文

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では比較的多くの河川から記録されているが、繁殖できるとは思えないような場所からのものも少なくない。長距離を移動することが知られており、また違法な捕獲、運搬の対象となっているとの懸念もあるため、そうした場所では、在来の繁殖集団として定着しているかどうかの確認が必要である。

保護上の留意点

繁殖に河川沿いの横穴を利用し、また繁殖期と非繁殖期で大きく居場所を変えるため、川岸の整備や堰の敷設に伴い繁殖が阻害されることがある。よってこうした事業にあたっては、慎重な配慮が必要である。川魚やサワガニといった餌動物も含む河川生態系の保全が強く望まれる。容易に交雑してしまう外来種チュウゴクオオサンショウウオの侵入も警戒すべきである。

県内分布

神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	△
	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

